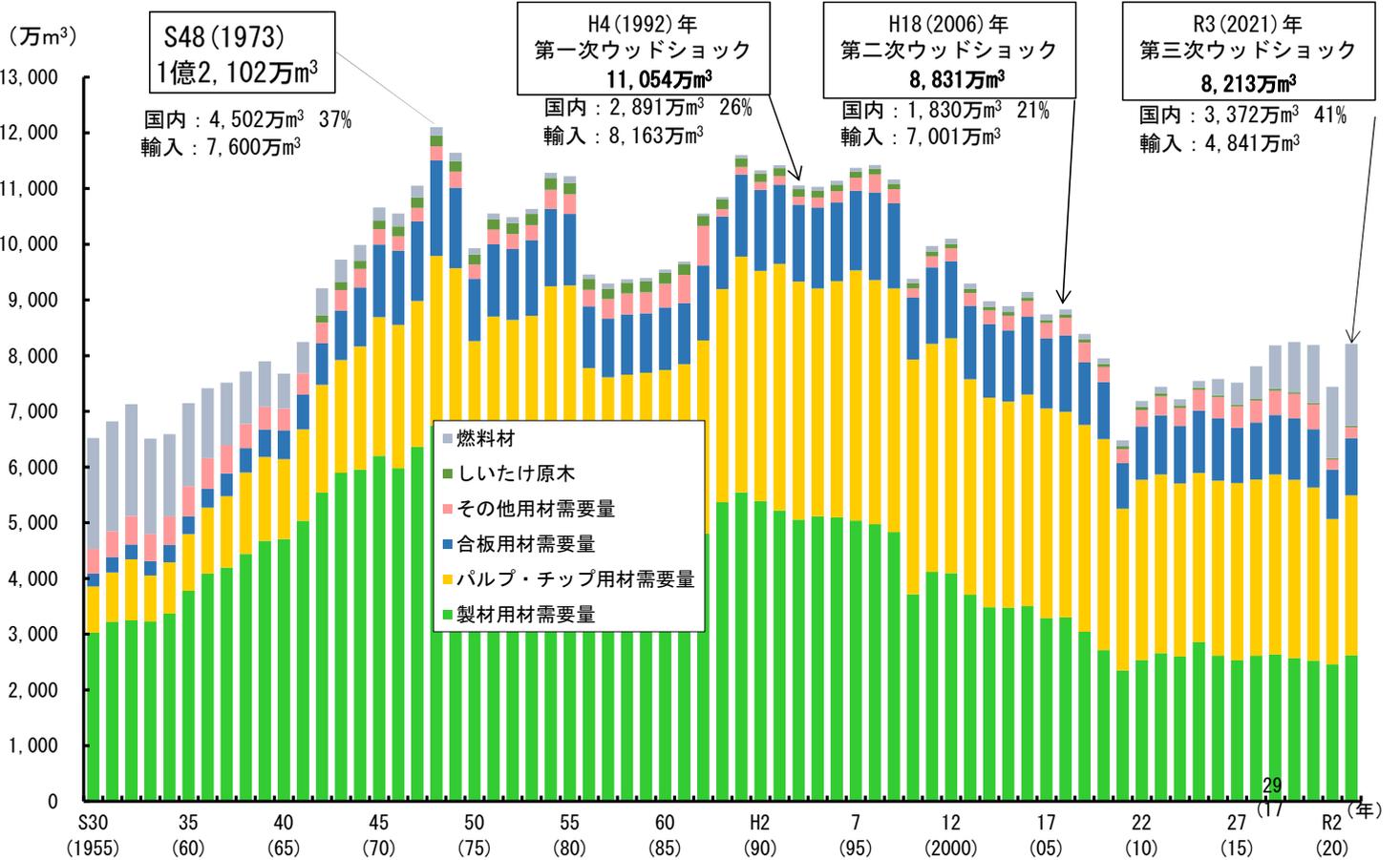
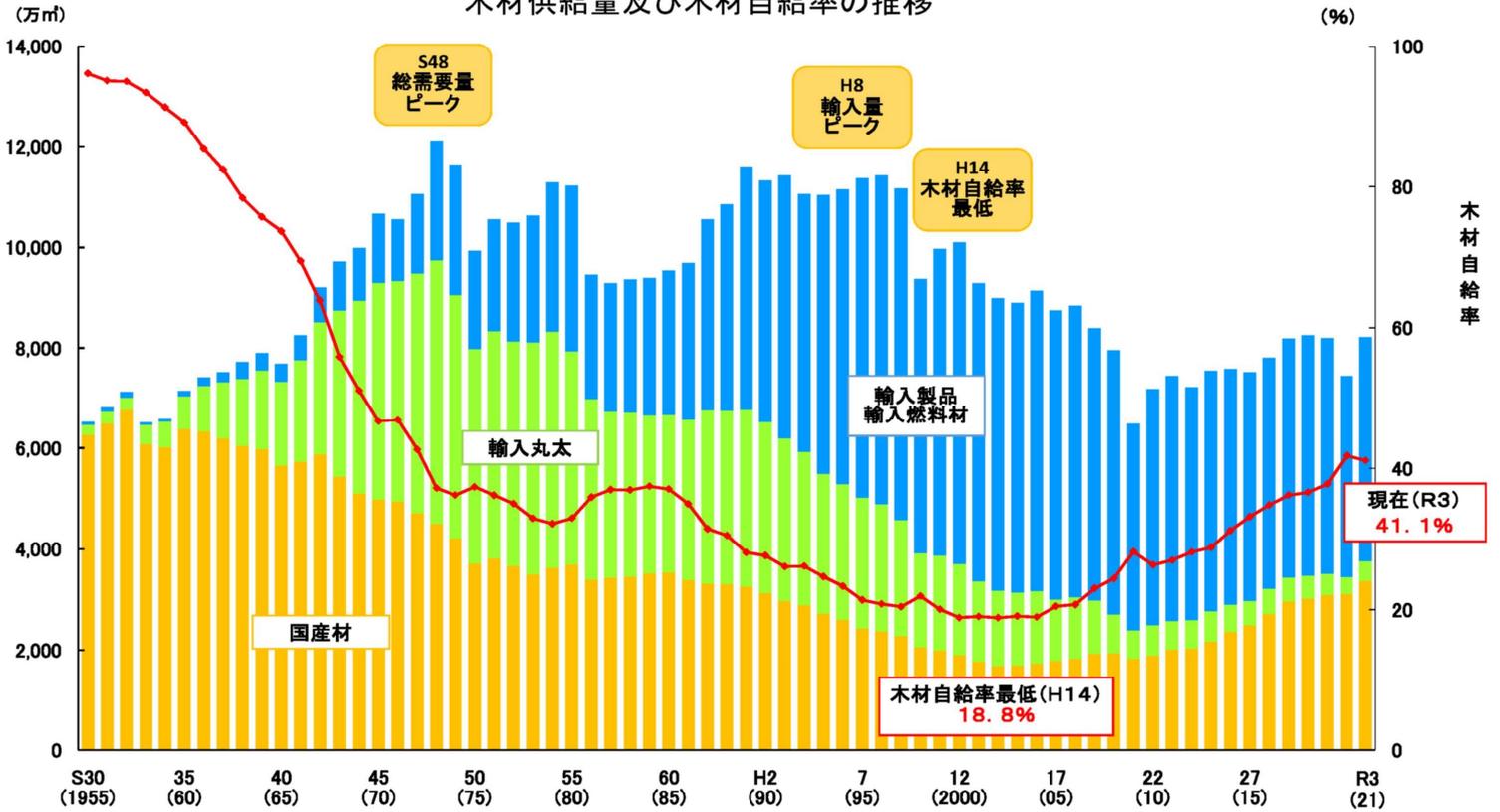


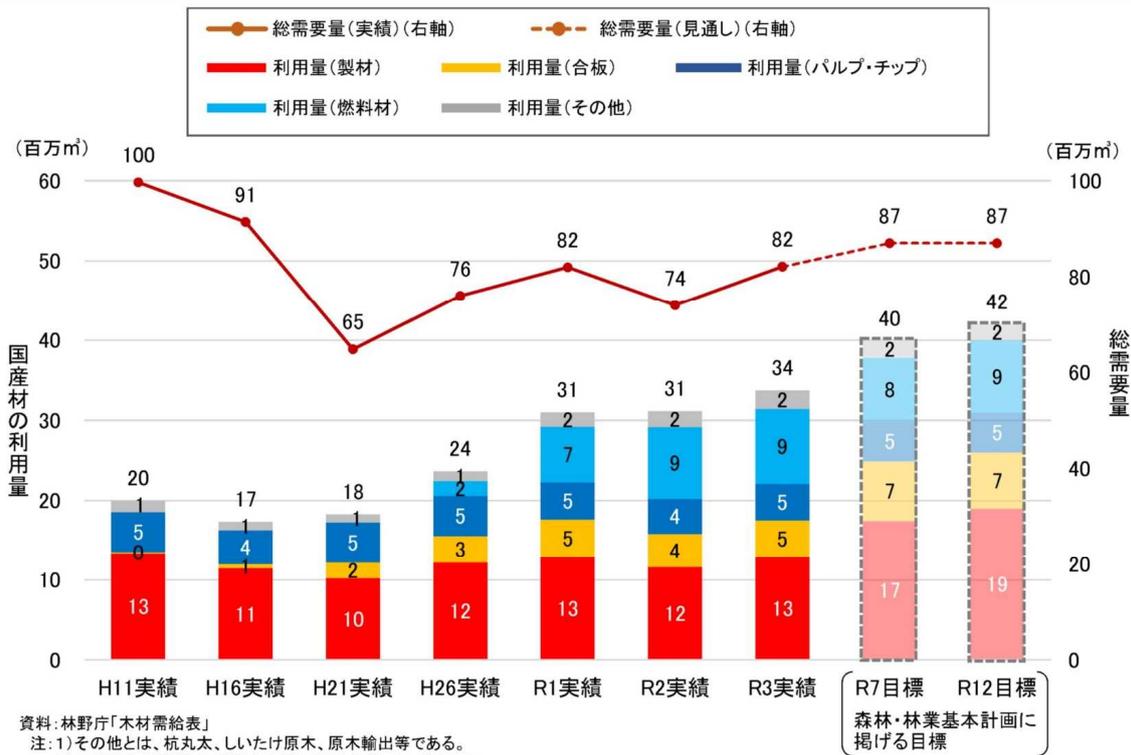


### 木材供給量及び木材自給率の推移



# 森林・林業基本計画に掲げる目標と実績

- 令和3年の木材需要量は前年より8百万m<sup>3</sup>増加し、令和元年の水準にほぼ回復。
- 令和3年の国産材利用量は全ての用途で増加し、製材用材、合板用材、パルプ・チップ用材はおおむね令和元年の水準に回復、燃料材は更に増加。

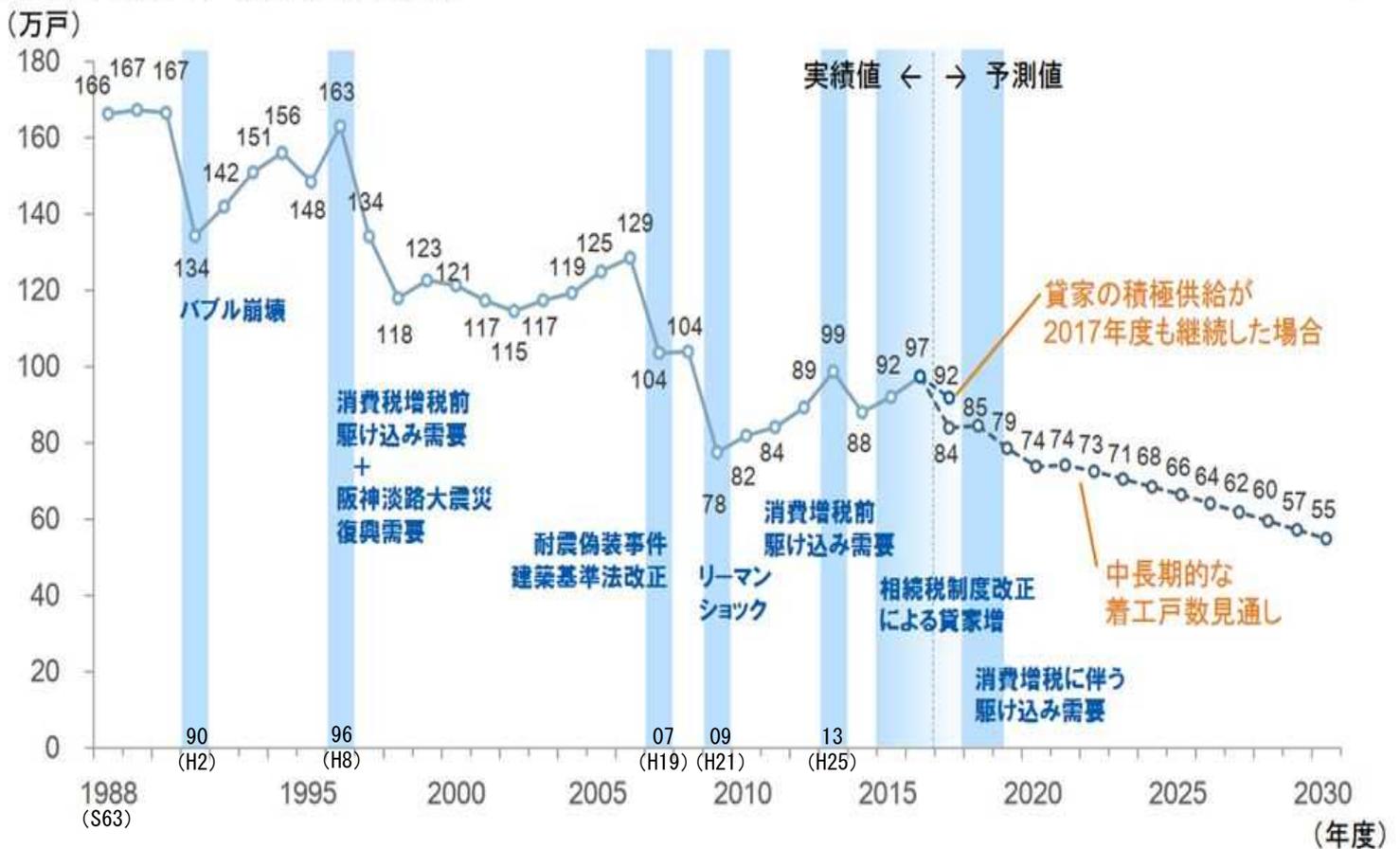


資料：林野庁「木材需給表」

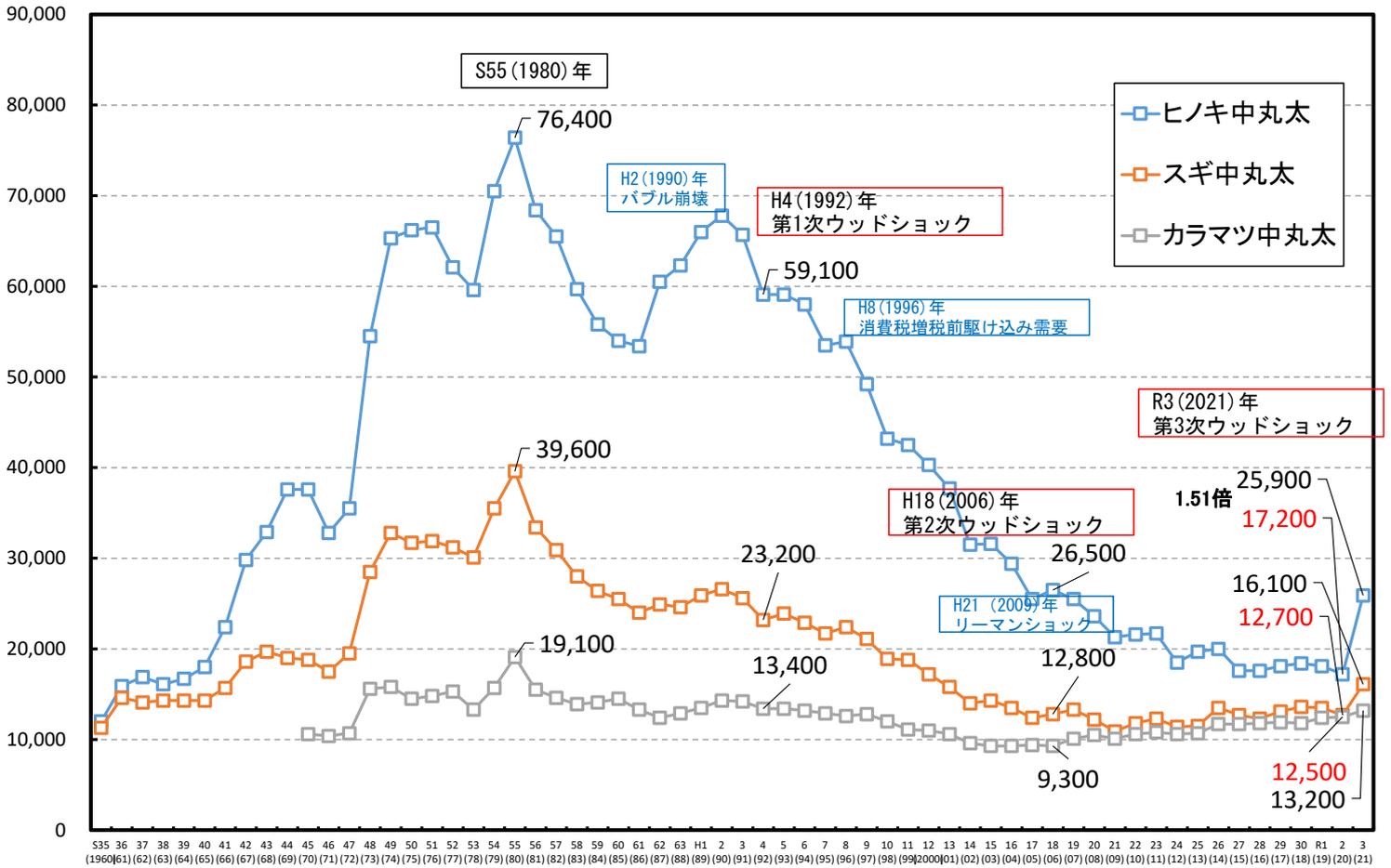
- 注：1) その他とは、杭丸太、しいたけ原木、原木輸出等である。  
 2) 四捨五入の関係で、総計と内訳の計は必ずしも一致しない。  
 3) H21までは、燃料材の区分がなく、「その他」に薪炭用材を計上している。

森林・林業基本計画に掲げる目標

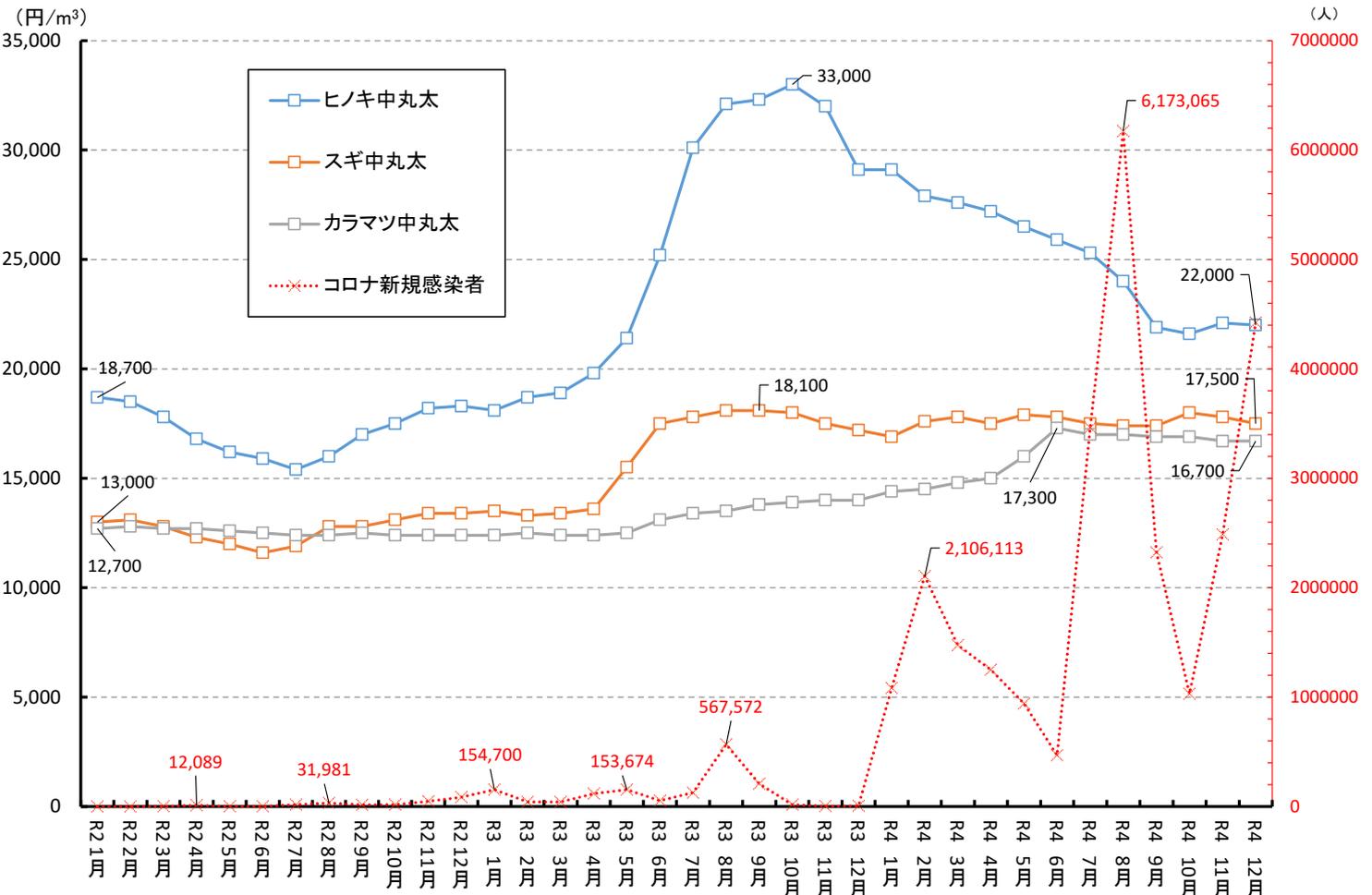
## 新設住宅着工戸数の推移と予測



# 木材価格の推移



## R2～R4の木材輸入量の減少等に起因する国内の建築用木材不足・価格高騰(いわゆる第3次ウッド・ショック)

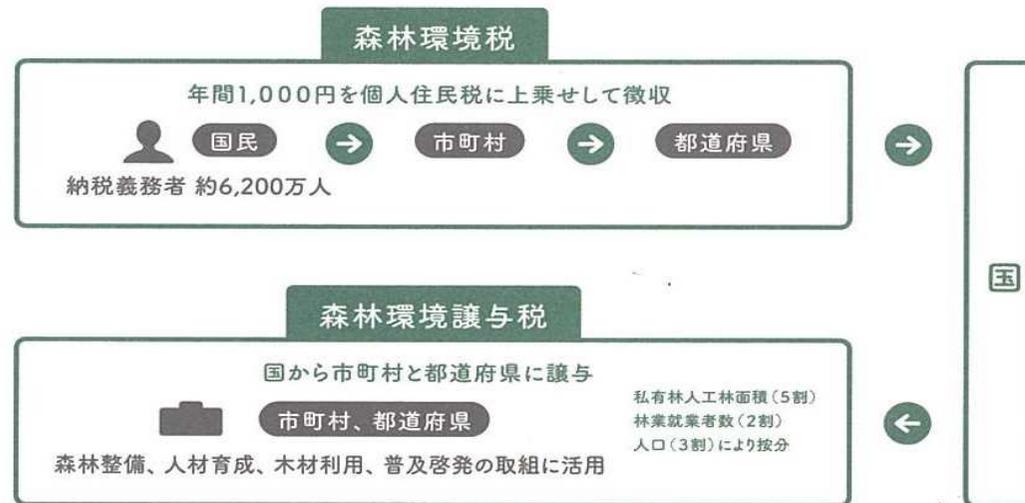


# 森林環境贈与税と森林経営管理制度

## 森林環境税の仕組み

国民の皆様から納税いただいた「森林環境税」は、国を通して「森林環境譲与税」として全国全ての市町村と都道府県に配分され、森林経営管理制度を始めとする森林整備やその促進のための取組に活用されます。

(年間総額約600億円)



## 森林経営管理制度

森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に、市町村が森林の経営管理の委託を受け、

- ① 林業経営に適した森林は林業経営者に再委託
- ② 林業経営に適さない森林は、市町村が管理を実施する仕組みです。

